

(2000)

便先權主張 昭和47年 P 月 21日

特許庁長 1. 発明の名称

キャナエンタ書が書し

2. 発明 者

住所

ユーザースタピア派はつ。コーベル、スレペルニ

氏 名 ユリック・ミベビック

3. 特許出願人

住 所

エープースキ(キャリスの)。フーベル、スマルスカ、

名称

トペルナ・ニャルニューナル 设作厅

ヘルマン・スピツカ

国 籍 ニーデースラヴァ、

4.代 理 人

住 所 〒105 東京都港区西新播 1 丁目 2 番 9 号 三井物産館内 電話(591)0261番

(2400) 氏名

47. 9.

4 発明の名称 **メヤチェンジ用係会装置** 1 特許請求の範囲

/ つの段に関連する V ベルト 伝動装置を設備的 に係合・分離することによつて V ベルトを被駆動 軸上の所定のベルト車と共動せしぬるようにした Vペルト使用のギャチェンジ用係合鍵性にかいて、 負荷を伝える中型軸上に固定半部と可動半部から なる朝ペルト車を取付け、可動半部のポス内に内 選にらせんみぞを有するブシュを固定し、客せ業 を最手方向に移動してそのカラーで玉を中空軸の 半径方向の欠から押し出して中型軸を翻ペルト車 の可動半部に係合せしめる ように した ことを特象 とするギャチェンジ用係合義性。

1 祭明の詳細な説明

この発明は / つの食に関連する ドルト伝動価値 を設隆的に保合・分離する Vベルト 使用 のギャチ エンジ用係合領獣に関する。

一つの登に周途する Vペルト 機原したベルト 車を設施的に係合・分離するペルト伝動観覚利用

## (19) 日本国特許庁

## 公開特許公報

①特開昭 48 - 39866

43公開日 昭48 (1973) 6 12~

②特願昭 47-94185

昭47.(1972) 9. 2/ ②出願 日

審査請求

有

(全4頁)

庁内整理番号

62日本分類

6837 31 2/25 3/ 54 A3/ 54 A12

のギャチェンジは既に周知である。

既知のある例では/つの段に関連するベルト車 が船上でアイドリングする。所望の段に関連する ベルト車と軸の固定的係合は軸の回転に抗して固 定されかつ軸上を移動自在なクラッチによつて行 なわれる。クラッチは係合装置によつて作動され る。ベルト車と軸の係合をたとえば歯付クラッチ によつて行なり型 のクラッテは 軸と所譲のペルト 車が停止さたは等速四転時以外は入らない。ギャ ナエンジの回転中に変速するには、ペルト車と軸 の係合に磨嫌クラッチを使用する必要がある。

ベルト伝動装置において遠正なベルト張力を得 るには、特別の調整研覧を用いて駆動輸と被動輸 の関係を関節するか、遊び車または開盤ロールド

さらに V ペルト使用の無限可収 ギヤナエンジも 知られている。この型のギャテェンジは何ペルト 車を使用する。 割ペルト車の一半部をたは両半部 は軸上を軸方向に 動自在である。一方のベルト 車の各半甲を相互に分離し他方のベルト車の各半

-315-